



平成 25 年 8 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社 ハマキョウレックス  
代 表 者 の 代 表 取 締 役  
役 職 氏 名 社 長 大 須 賀 秀 徳  
( コ ー ド 番 号 9 0 3 7 東 証 第 一 部 )  
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 執 行 役 員 山 崎 裕 康  
管 理 本 部 長  
( T E L . 0 5 3 - 4 4 4 - 0 0 5 4 )

(訂正)「平成 24 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」  
の一部訂正について

当社は、平成 25 年 7 月 26 日付の「当社元従業員による不正行為に係る調査結果について」で開示いたしましたとおり、過年度の決算を訂正することといたしました。

このため、平成 24 年 1 月 31 日に発表いたしました「平成 24 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容を訂正いたしましたのでお知らせいたします。

訂正箇所が多数であるため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線\_\_\_\_を付して表示しております。

## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス  
 コード番号 9037 URL <http://www.hamakyorex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 大須賀 正孝

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 管理本部長兼経営企画室長 (氏名) 日比野 稔

TEL 053-444-0054

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	68,619	5.6	5,343	7.2	5,361	2.6	2,785	8.7
23年3月期第3四半期	64,983	9.9	4,982	21.7	5,223	30.3	2,563	29.1

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 3,159百万円 (6.7%) 23年3月期第3四半期 2,962百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	333.47	—
23年3月期第3四半期	306.87	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	86,138		27,590			27.6
23年3月期	85,283		24,826			25.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 23,789百万円 23年3月期 21,334百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	17.00	—	19.00	36.00
24年3月期	—	19.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	5.2	6,400	10.4	6,350	5.0	3,200	12.8	383.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	8,356,000 株	23年3月期	8,356,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	2,642 株	23年3月期	2,582 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	8,353,375 株	23年3月期3Q	8,353,484 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】P.3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) セグメント情報等 .....	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6
(6) 重要な後発事象 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による停滞から回復基調にある一方、欧州債務危機や歴史的円高の継続など世界経済の影響を大きく受け、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましても、国内貨物の輸送需要は回復基調にありますが、消費の落込みや燃料価格の高騰など引続き予断を許さない状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第3四半期連結累計期間は、営業収益686億19百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益53億43百万円（同7.2%増）、経常利益53億61百万円（同2.6%増）、四半期純利益27億85百万円（同8.7%増）となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

#### （物流センター事業）

当第3四半期連結累計期間は、営業収益325億99百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益41億88百万円（同7.8%増）となりました。

営業収益増加の主な要因は、物流センター運営の充実と前連結会計年度に新規稼働したセンターが順次業績に寄与したことによるものであります。

新規受託の概況につきましては、9社の物流を新たに受託しております。

稼働状況につきましては、前期受託した5社を含めた14社のうち11社稼働しております。残りの3社につきましては、1月以降の稼働を目指し準備を進めてまいります。

物流センターの総数は、新規受託による増加と既存センターの減少により、69センターとなりました。

引続き全員参加、コミュニケーション、日々決算（収支日計）を徹底して行い、収支改善に向け取り組んでまいります。

#### （貨物自動車運送事業）

当第3四半期連結累計期間は、営業収益360億19百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益11億52百万円（同5.5%増）となりました。

営業収益の増加の主な要因は、前連結会計年度に取得した連結子会社の増加と、東日本大震災以降の物量回復による増加であります。

近物レックス㈱の状況におきましては、日々決算（収支日計）を利用した毎週実施の定例支社長会議により、無駄な経費の抑制を図っております。また、平成23年6月に燃料使用量の抑制と品質向上のため、全幹線車両へ導入したデジタルタコグラフにより、月額約7百万円の燃料費を削減しております。これらの取組みと営業収益の増加により、同社の営業利益は、前年に比べ1億29百万円増加しております。

当社と近物レックス㈱との取引におきましては、共同営業が順調に推移し、取引額の目標である「月額1億円以上」を継続して達成しております。また、平成23年7月より同社の設備（大阪）を利用した物流センター業務を新たに開始しております。今後も、当企業グループ内の設備・配送網等の有効活用により、グループ全体での採算性の向上を図ってまいります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(当第3四半期の状況)

当企業グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比8億54百万円増加し861億38百万円となりました。主な要因といたしましては、受取手形及び売掛金の増加等により流動資産が14億28百万円増加し、有形固定資産の減少等により固定資産が5億73百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比19億9百万円減少し、585億47百万円となりました。主な要因といたしましては、短期借入金等の減少により流動負債が9億15百万円、長期借入金等の減少等により固定負債が9億93百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比27億64百万円増加し、275億90百万円となりました。これは主に、四半期純利益27億85百万円の計上と剰余金の配当による減少3億17百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の25.0%から27.6%へと増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、欧州債務危機や原油価格高騰への懸念など、依然として先行き不透明であります。

このような環境の中、顧客の物流費削減のニーズに応えるチャンスとして、当社の主力である物流センター事業(3PL事業)を中心にコスト削減を提案し、新規受託に向け積極的な営業を進めてまいります。また、既存の物流センターにおきましても、更なる業務効率化を推進してまいります。

当企業グループでは、「近物レックス㈱の経営改善」をグループ全体での重要課題とし、継続して経営改善を進めてまいります。

平成24年3月期の業績見通しといたしましては、連結営業収益900億円(前年同期比5.2%増)、連結経常利益63億5千万円(同5.0%増)、連結当期純利益32億円(同12.8%増)を見込んでおります。

通期見直しにおける軽油単価につきましては、最近の情勢をもとに計算しております。なお、軽油単価の変動による影響につきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間約37百万円の影響となります。また借入金の変動による影響につきましては、金利0.1%の変動により年間約22百万円の影響となります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,083,325	4,193,955
受取手形及び売掛金	10,926,016	12,500,257
商品	9,121	4,844
貯蔵品	170,555	157,895
その他	1,292,357	1,054,674
貸倒引当金	△42,779	△44,599
流動資産合計	16,438,596	17,867,027
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,883,831	24,059,380
土地	34,399,126	34,450,324
その他(純額)	3,734,850	4,159,399
有形固定資産合計	63,017,808	62,669,104
無形固定資産	2,024,507	2,031,575
投資その他の資産	3,802,315	3,570,520
固定資産合計	68,844,632	68,271,200
資産合計	85,283,228	86,138,228
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,861,064	6,617,859
短期借入金	28,149,857	26,513,862
未払法人税等	1,338,184	875,970
賞与引当金	589,294	316,608
役員賞与引当金	47,926	38,765
その他	3,940,553	4,647,907
流動負債合計	39,926,881	39,010,973
固定負債		
長期借入金	10,676,012	9,649,282
退職給付引当金	5,135,237	4,994,674
役員退職慰労引当金	359,940	344,145
その他	4,358,580	4,548,215
固定負債合計	20,529,770	19,536,317
負債合計	60,456,651	58,547,291
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,045,050	4,045,050
資本剰余金	3,951,405	3,951,405
利益剰余金	13,392,372	15,860,536
自己株式	△7,698	△7,847
株主資本合計	21,381,129	23,849,144
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△46,329	△60,052
その他の包括利益累計額合計	△46,329	△60,052
少数株主持分	3,491,776	3,801,844
純資産合計	24,826,577	27,590,936
負債純資産合計	85,283,228	86,138,228

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業収益	64,983,505	68,619,319
営業原価	58,306,954	61,637,926
営業総利益	6,676,550	6,981,393
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	29,159	7,107
役員報酬	353,107	356,416
給料及び手当	406,511	394,754
賞与引当金繰入額	29,182	25,644
役員賞与引当金繰入額	38,860	39,298
退職給付費用	22,741	22,891
役員退職慰労引当金繰入額	28,043	22,935
その他	786,408	768,922
販売費及び一般管理費合計	1,694,014	1,637,971
営業利益	4,982,536	5,343,421
営業外収益		
受取利息	2,417	1,344
受取配当金	20,838	31,653
負ののれん償却額	152,294	152,294
助成金収入	297,185	40,269
雑収入	224,636	186,694
営業外収益合計	697,372	412,255
営業外費用		
支払利息	378,283	318,146
雑損失	77,794	76,077
営業外費用合計	456,078	394,224
経常利益	5,223,829	5,361,453
特別利益		
負ののれん発生益	4,665	—
特別利益合計	4,665	—
特別損失		
投資有価証券評価損	100,471	10,318
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	119,041	—
損害賠償金	38,588	—
保険解約損	—	11,279
災害による損失	—	10,229
特別損失合計	258,101	31,827
税金等調整前四半期純利益	4,970,393	5,329,625
法人税、住民税及び事業税	1,880,317	1,915,822
法人税等調整額	157,018	240,421
法人税等合計	2,037,335	2,156,244
少数株主損益調整前四半期純利益	2,933,058	3,173,380
少数株主利益	369,614	387,787
四半期純利益	2,563,443	2,785,593
少数株主利益	369,614	387,787
少数株主損益調整前四半期純利益	2,933,058	3,173,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,542	△13,717
その他の包括利益合計	29,542	△13,717
四半期包括利益	2,962,600	3,159,663
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,596,454	2,771,870
少数株主に係る四半期包括利益	366,146	387,793



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業利益	30,664,291	34,319,214	64,983,505	—	64,983,505
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	136,180	1,259,832	1,396,012	△1,396,012	—
計	30,800,471	35,579,046	66,379,518	△1,396,012	64,983,505
セグメント利益	3,886,806	1,092,369	4,979,175	3,360	4,982,536

注1 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業利益	32,599,638	36,019,680	68,619,319	—	68,619,319
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	398,910	1,236,030	1,634,940	△1,634,940	—
計	32,998,548	37,255,711	70,254,260	△1,634,940	68,619,319
セグメント利益	4,188,124	1,152,264	5,340,389	3,032	5,343,421

注1 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません

[ 訂正後 ]



## 平成 24 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 24 年 1 月 31 日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス

コード番号 9037 URL <http://www.hamakyorex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大須賀 秀徳

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 山崎 裕康 TEL 053-444-0054

四半期報告書提出予定日 平成 24 年 2 月 13 日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 24 年 3 月期第 3 四半期の連結業績(平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 3 月期第 3 四半期	68,499	5.9	5,223	11.5	5,241	6.4	2,698	16.4
23 年 3 月期第 3 四半期	64,687	9.4	4,687	14.4	4,928	23.0	2,317	16.7

(注) 包括利益 24 年 3 月期第 3 四半期 3,073 百万円 (13.1%) 23 年 3 月期第 3 四半期 2,716 百万円 (—%)

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24 年 3 月期第 3 四半期	323.10	—
23 年 3 月期第 3 四半期	277.46	—

#### (2) 連結財務状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24 年 3 月期第 3 四半期	85,778	27,231	27.3
23 年 3 月期	85,010	24,553	24.8

(参考) 自己資本 24 年 3 月期第 3 四半期 23,429 百万円 23 年 3 月期 21,061 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 3 月期	—	17.00	—	19.00	36.00
24 年 3 月期	—	19.00	—		
24 年 3 月期(予想)				19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成 24 年 3 月期の連結業績予想(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	5.6	6,400	17.3	6,350	11.3	3,200	24.8	383.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	8,356,000株	23年3月期	8,356,000株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	2,642株	23年3月期	2,582株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	8,353,375株	23年3月期3Q	8,353,484株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】P.3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) セグメント情報等 .....	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6
(6) 重要な後発事象 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による停滞から回復基調にある一方、欧州債務危機や歴史的円高の継続など世界経済の影響を大きく受け、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましても、国内貨物の輸送需要は回復基調にありますが、消費の落ち込みや燃料価格の高騰など引続き予断を許さない状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第3四半期連結累計期間は、営業収益684億99百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益52億23百万円（同11.5%増）、経常利益52億41百万円（同6.4%増）、四半期純利益26億98百万円（同16.4%増）となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

#### （物流センター事業）

当第3四半期連結累計期間は、営業収益324億80百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益40億68百万円（同13.3%増）となりました。

営業収益増加の主な要因は、物流センター運営の充実と前連結会計年度に新規稼働したセンターが順次業績に寄与したことによるものであります。

新規受託の概況につきましては、9社の物流を新たに受託しております。

稼働状況につきましては、前期受託した5社を含めた14社のうち11社稼働しております。残りの3社につきましては、1月以降の稼働を目指し準備を進めてまいります。

物流センターの総数は、新規受託による増加と既存センターの減少により、69センターとなりました。

引続き全員参加、コミュニケーション、日々決算（収支日計）を徹底して行い、収支改善に向け取り組んでまいります。

#### （貨物自動車運送事業）

当第3四半期連結累計期間は、営業収益360億19百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益11億52百万円（同5.5%増）となりました。

営業収益の増加の主な要因は、前連結会計年度に取得した連結子会社の増加と、東日本大震災以降の物量回復による増加であります。

近物レックス㈱の状況におきましては、日々決算（収支日計）を利用した毎週実施の定例支社長会議により、無駄な経費の抑制を図っております。また、平成23年6月に燃料使用量の抑制と品質向上のため、全幹線車両へ導入したデジタルタコグラフにより、月額約7百万円の燃料費を削減しております。これらの取組みと営業収益の増加により、同社の営業利益は、前年に比べ1億29百万円増加しております。

当社と近物レックス㈱との取引におきましては、共同営業が順調に推移し、取引額の目標である「月額1億円以上」を継続して達成しております。また、平成23年7月より同社の設備（大阪）を利用した物流センター業務を新たに開始しております。今後も、当企業グループ内の設備・配送網等の有効活用により、グループ全体での採算性の向上を図ってまいります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(当第3四半期の状況)

当企業グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比7億68百万円増加し857億78百万円となりました。主な要因といたしましては、受取手形及び売掛金の増加等により流動資産が13億41百万円増加し、有形固定資産の減少等により固定資産が5億73百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比19億9百万円減少し、585億47百万円となりました。主な要因といたしましては、短期借入金等の減少により流動負債が9億15百万円、長期借入金等の減少等により固定負債が9億93百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比26億77百万円増加し、272億31百万円となりました。これは主に、四半期純利益26億98百万円の計上と剰余金の配当による減少3億17百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の24.8%から27.3%へと増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、欧州債務危機や原油価格高騰への懸念など、依然として先行き不透明であります。

このような環境の中、顧客の物流費削減のニーズに応えるチャンスとして、当社の主力である物流センター事業(3PL事業)を中心にコスト削減を提案し、新規受託に向け積極的な営業を進めてまいります。また、既存の物流センターにおきましても、更なる業務効率化を推進してまいります。

当企業グループでは、「近物レックス㈱の経営改善」をグループ全体での重要課題とし、継続して経営改善を進めてまいります。

平成24年3月期の業績見通しといたしましては、連結営業収益900億円(前年同期比5.6%増)、連結経常利益63億5千万円(同11.3%増)、連結当期純利益32億円(同24.8%増)を見込んでおります。

通期見通しにおける軽油単価につきましては、最近の情勢をもとに計算しております。なお、軽油単価の変動による影響につきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間約37百万円の影響となります。また借入金の変動による影響につきましては、金利0.1%の変動により年間約22百万円の影響となります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,083,325	4,193,955
受取手形及び売掛金	10,450,568	11,899,237
商品	9,121	4,844
貯蔵品	170,555	157,895
その他	1,494,943	1,296,227
貸倒引当金	△42,779	△44,599
流動資産合計	16,165,734	17,507,560
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,883,831	24,059,380
土地	34,399,126	34,450,324
その他(純額)	3,734,850	4,159,399
有形固定資産合計	63,017,808	62,669,104
無形固定資産	2,024,507	2,031,575
投資その他の資産	3,802,315	3,570,520
固定資産合計	68,844,632	68,271,200
資産合計	85,010,366	85,778,760
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,861,064	6,617,859
短期借入金	28,149,857	26,513,862
未払法人税等	1,338,184	875,970
賞与引当金	589,294	316,608
役員賞与引当金	47,926	38,765
その他	3,940,553	4,647,907
流動負債合計	39,926,881	39,010,973
固定負債		
長期借入金	10,676,012	9,649,282
退職給付引当金	5,135,237	4,994,674
役員退職慰労引当金	359,940	344,145
その他	4,358,580	4,548,215
固定負債合計	20,529,770	19,536,317
負債合計	60,456,651	58,547,291
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,045,050	4,045,050
資本剰余金	3,951,405	3,951,405
利益剰余金	13,119,510	15,501,069
自己株式	△7,698	△7,847
株主資本合計	21,108,267	23,489,677
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△46,329	△60,052
その他の包括利益累計額合計	△46,329	△60,052
少数株主持分	3,491,776	3,801,844
純資産合計	24,553,715	27,231,469
負債純資産合計	85,010,366	85,778,760

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業収益	64,687,971	68,499,727
営業原価	58,302,545	61,632,499
営業総利益	6,385,426	6,867,227
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	33,569	12,534
役員報酬	353,107	356,416
給料及び手当	406,511	394,754
賞与引当金繰入額	29,182	25,644
役員賞与引当金繰入額	38,860	39,298
退職給付費用	22,741	22,891
役員退職慰労引当金繰入額	28,043	22,935
その他	786,408	768,922
販売費及び一般管理費合計	1,698,424	1,643,398
営業利益	4,687,002	5,223,829
営業外収益		
受取利息	2,417	1,344
受取配当金	20,838	31,653
負ののれん償却額	152,294	152,294
助成金収入	297,185	40,269
雑収入	224,636	186,694
営業外収益合計	697,372	412,255
営業外費用		
支払利息	378,283	318,146
雑損失	77,794	76,077
営業外費用合計	456,078	394,224
経常利益	4,928,295	5,241,860
特別利益		
負ののれん発生益	4,665	—
特別利益合計	4,665	—
特別損失		
投資有価証券評価損	100,471	10,318
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	119,041	—
損害賠償金	38,588	—
保険解約損	—	11,279
災害による損失	—	10,229
過年度不正関連損失	112,229	—
特別損失合計	370,331	31,827
税金等調整前四半期純利益	4,562,629	5,210,033
法人税、住民税及び事業税	1,880,317	1,915,822
法人税等調整額	△5,026	207,434
法人税等合計	1,875,290	2,123,257
少数株主損益調整前四半期純利益	2,687,339	3,086,775
少数株主利益	369,614	387,787
四半期純利益	2,317,725	2,698,987
少数株主利益	369,614	387,787
少数株主損益調整前四半期純利益	2,687,339	3,086,775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,542	△13,717
その他の包括利益合計	29,542	△13,717
四半期包括利益	2,716,882	3,073,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,350,736	2,685,264
少数株主に係る四半期包括利益	366,146	387,793



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	<u>30,368,757</u>	34,319,214	<u>64,687,971</u>	—	<u>64,687,971</u>
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	136,180	1,259,832	1,396,012	△1,396,012	—
計	<u>30,504,937</u>	35,579,046	<u>66,083,984</u>	△1,396,012	<u>64,687,971</u>
セグメント利益	<u>3,591,272</u>	1,092,369	<u>4,683,641</u>	3,360	<u>4,684,002</u>

注1 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	<u>32,480,046</u>	36,019,680	<u>68,499,727</u>	—	<u>68,499,727</u>
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	398,910	1,236,030	1,634,940	△1,634,940	—
計	<u>32,878,956</u>	37,255,711	<u>70,134,668</u>	△1,634,940	<u>68,499,727</u>
セグメント利益	<u>4,068,532</u>	1,152,264	<u>5,220,796</u>	3,032	<u>5,223,829</u>

注1 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません